

令和7年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(一財) 札幌市環境事業公社	所管課 記入者	環境事業部総務課		
基本財産	40,000千円	担当	光谷	電話	011-211-2907
設立年月日	平成2年(1990年) 4月1日	本市出資額	20,000千円	(出資割合	50.0%)
		出資年月日	平成2年(1990年) 4月2日		
設立・出資目的	消費活動や事業活動の活発化に伴い、廃棄物が急増し、民間で適正処理することが困難な廃棄物が存在することから、事業者処理責任の原則を崩さず、事業系廃棄物の適正処理と減量、リサイクルを推進するために設立された。 廃棄物の収集運搬及び再資源化等の処理に関する事業等を行うことにより、清潔で快適な都市環境の確保と資源循環型社会の推進を図り、地域社会の発展と地球環境の保全に寄与することを目的としている。	沿革	財団法人札幌市環境事業公社設立 事業系ごみ収集運搬事業開始 びん・缶・ペットボトル選別事業開始 不燃用プリペイド袋リサイクル事業開始 一般財団法人(非常利型)に移行		
代表者	理事長(常勤) 渋谷 芳生(市OB)				
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② (一社団) 札幌建設業協会 (25.0%) ③ (一財) 札幌市環境事業公社 (25.0%) ④ ⑤ ⑥				
団体所在地	〒 060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目4番地1 サン経成ビル内		電話	011-219-5353	

2 実施事業

(詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ) [設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]					
① 調査啓発事業(自主事業) (6ページ)			② びん・缶・ペットボトル選別事業(自主・受託事業) (7ページ)		
資源の有効活用及び再利用の研究を進めるとともに、リサイクル及び廃棄物の減量等に関する普及啓発に寄与			資源選別センターにおいて、事業系資源物の資源化(自主)、家庭ごみのびん・缶・ペットボトルの選別(受託)		
③ ごみ資源化工場ほか施設管理事業(受託事業) (8ページ)			④ 大型ごみ収集センター管理運営事業(受託事業)(9ページ)		
事業系ごみのリサイクル促進のため、ごみ固化燃料の生産・供給			大型ごみ戸別有料収集の円滑な業務遂行		
⑤ 事業系ごみ収集運搬事業(自主事業) (10ページ)			⑥ 不燃用プリペイド袋リサイクル事業(自主事業) (11ページ)		
事業系一般廃棄物の収集運搬許可を有するのは当団体のみであり、廃棄物の安定的かつ継続的な適正処理の維持			本市のごみ埋立地の延命化・資源の有効利用促進を図るため、不燃用プリペイド袋から資源物の選別・再資源化		
⑦ 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業(受託事業) (12ページ)			⑧ 剪定枝等処理事業(自主事業) (13ページ)		
中沼プラスチック・雑がみ選別センターを適正に管理し、容器包装プラスチック及びごみのリサイクルを推進			剪定枝などの生木の破碎、チップ化により資源の有効活用に寄与		
(2) 総支出に占める事業支出割合		99.7%	(主要事業支出合計	7,400,998千円	+ 総支出 7,425,898千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)					
評価	■ 十分出ている	□ 高める余地あり	□ 出ていない		
理由	事業系一般廃棄物の収集運搬やびん・缶・ペットボトルの選別に係る事業の実施によるほか、ごみ資源化工場等5施設の運営管理などを通じ、都市廃棄物の適正処理と減量・リサイクルの推進に大きな役割を果たしていることから、出資・設立目的に対する事業効果は十分出ていると評価できる。				
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)					
評価	■ 実施されている	□ 一部見直す必要がある	□ 実施されていない		
理由	財務状況の健全性を保ちながら、各主要事業における成果指標を概ね達成していることから、必要十分な事業が実施されていると評価できる。				

3 団体職員・構成員等

役員	令和7年4月1日現在(単位:人)					
	プロパー職員の年齢構成					
常勤理事	10歳代	0	40歳代	5		
	20歳代	3	50歳代	18		
	30歳代	5	60歳代	8		
	平均年齢	50.0	歳			
常勤監事	6	1	8	0		
	5	0	31	25		
	2					
	76					
役員の任期						
理事	2	年				
監事	4	年				
代表権のある役員の就任年月						
理事長	R6.6					
副理事長						
職員総数の推移(人)						
R05.4.1時点	78					
R06.4.1時点	78					

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常収益(a)	7,596,615	7,745,648	(100.0%) (+149,033)
		経常費用(b)	7,384,248	7,425,898		(+41,650)
		うち管理費等(c)	33,809	34,327	(0.4%)	(+518)
		うち人件費(d)	463,546	487,796	(6.3%)	(+24,250)
		当期経常増減額(e)	212,367	319,750		(+107,383)
	当期正味財産増減額(f)		147,176	216,258		(+69,082)
	貸借対照表	資産(g)	4,421,412	4,723,276		(+301,864)
		流動資産(h)	3,333,339	3,720,028		(+386,689)
		固定資産(i)	1,088,073	1,003,248		(▲ 84,825)
		うち基本財産(j)	40,000	40,000		(0)
		負債(k)	1,644,706	1,730,312		(+85,606)
		流動負債(l)	780,014	854,556		(+74,542)
		固定負債(m)	864,692	875,756		(+11,064)
		正味財産(n)	2,776,706	2,992,964		(+216,258)
		借入金残高(o)	0	0		(0)

R6年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	経常収益(a)については、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増等の要因により、前年比149百万円余増加した。
b	一方、経常費用(b)については、びん・缶・ペットボトル選別事業における労務単価の増や、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増に起因する処分料の増加等により、前年比41百万円余増加した。
e	以上の結果、当期経常増減額(e)は、前年比107百万円余増の319百万円余、これに当期経常外増減額及び法人税等を差引した当期正味財産増減額(f)は、216百万円余となった。
g	固定資産(i)が減価償却等により前年比84百万円余減少したものの、当期経常増減額(e)が319百万円余と良好な決算だったこと等により流動資産(h)が前年比386百万円余増加し、資産(g)は前年比301百万円余増加した。
k	流動負債(l)は未払法人税等の増加等により前年比74百万円余増加し、固定負債(m)は退職給付引当金の増加等に起因して前年比11百万円余増加した。これにより、負債(k)は85百万円余の増加となった。
m	

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	1,072,841	1,101,356	(+28,515)
市業務委託料	1,072,841	1,101,356	(+28,515)
うち随意契約	1,072,841	1,101,356	(+28,515)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	535,663	547,442	(+11,779)
うち市業務委託分	535,663	547,442	(+11,779)
再委託率	(49.9%)	(49.7%)	(▲ 0.2%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	2,736,706	2,952,964	(+216,258)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	62.8%	63.4%	(+0.6%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	427.3%	435.3%	(+8.0%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(l÷n)	39.2%	33.5%	(▲5.7%)	≤100%	固定資産÷正味財産
(2)生産性	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
	職員一人当たり経常収益	97,393千円	99,303千円	(+1,911千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	6.1%	6.3%	(+0.2%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	433千円	440千円	(+7千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
(3)自立性	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.4%	0.4%	(▲0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
	市依存度(収入)	14.1%	14.2%	(+0.1%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	14.1%	14.2%	(+0.1%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
	健全性の評価	■ 非常に高い □ 高い □ 概ね健全 □ やや低い □ 低い				
理由	健全性については、良好な決算内容であったことから前年に引き続き剰余金が増加、また、自己資本比率、流動比率、固定比率はいずれも評価基準を満たしている。 生産性について、職員一人当たり管理費は若干増加したものの、職員一人当たり経常収益は好転しており、概ね評価基準を満たしている。 自立性についても、健全性の評価同様、良好な決算内容であったことから、市依存度及び市財政的関与割合が概ね前年度同様となっており、評価基準を満たしている。 これらを総合的に勘案し、「非常に高い」と評価した。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

No.	指標名	現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
○出資の見直し検討							
①	市出資比率	目標	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	10,000千円 (出資比率25%)	10,000千円 (出資比率25%)	
		実績	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)			
		評価	達成				
②	出資比率の見直し検討	目標	検討調整	調整完了	引下げ実施	目標達成	
		実績	検討調整	検討調整			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応(R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する)							

(2)人的の関与

No.	指標名	現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
○市職員派遣の継続							
①	市派遣職員数	目標	1人	1人	1人	1人	
		実績	1人	1人			
		評価	達成				
②	市職員の評議員への就任数	目標	1人	1人	1人	1人	
		実績	1人	1人			
		評価	達成				
③	市職員の役員への就任数	目標	2人	2人	2人	2人	
		実績	2人	2人			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応(R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する)							

(3)団体の活用

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
No.	指標名						
○団体の保有施設の活用による業務の安定的な実施							
①	ペットボトル品質評価ランク	目標	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	
		実績	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A			
		評価		達成			
②	資源選別センター見学者数	目標	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	
		実績	2,030人	2,011人			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
No.	指標名						
○事業系ごみ等の適正処理							
①	事業系ごみ等の適正で効率的な処理	目標		継続	継続	継続	
		実績	実施	実施			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
No.	指標名						
○調査研究・普及啓発活動の継続的な取組							
①	調査研究の実施回数	目標	2件	2件	1件	1件	
		実績	2件	2件			
		評価		達成			
②	啓発資料の配布数 (市内全小学4年生対象)	目標		約16,000部	約16,000部	約16,000部	
		実績	15,961部	15,931部			
		評価		達成			
③	啓発ポスターの掲示車両台数	目標	16台	18台	20台	20台	
		実績	14台	16台			
		評価		達成			
④	事業者等への啓発活動の実施 (HPアクセス件数)	目標	120,000件	120,000件	120,000件	120,000件	
		実績	129,552件	142,449件			
		評価		達成			
⑤	環境関連イベントへの参加回数	目標		1件	1件	1件	
		実績	1件	1件			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(4)更なる経営の安定化

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
No.	指標名						
○資源選別施設の計画的な施設保全の実施							
①	計画稼働日数の達成率	目標		100%	100%	100%	
		実績	100%	100%			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考
No.	指標名						
○事業系ごみ収集運搬の効率化							
①	申込者に対するパンフレット配布等によるガイドラインの周知率	目標		100%	100%	100%	
		実績	100%	100%			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(5)団体統制

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考
No.	指標名						
○適正管理の継続							
①	内部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続	継続
		実績	実施	実施			
		評価		達成			
②	外部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続	継続
		実績	実施	実施			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(6)札幌市の施策との連動

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考	
No.	指標名							
○障がいのある方の自立支援								
①	障害者就労施設からの委託業務及び物品等発注件数・金額	目標		8件	8件	8件	8件	
		実績	12件	11件				
		評価		達成				
②	障がいのある方の雇用人数	目標		1人 (法定1)	1人 (法定1)	1人 (法定1)	1人 (法定1)	
		実績	0人 (法定1)	0人				
		評価		未達成				
未達成理由と今後の対応（R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								
②令和2年9月末に障がいのある方が退職し、以降は応募がなく雇用に至っていない状態にある。長期的視点に立った従事業務、労働環境等の検討が重要となってくることから、今後に向けた総合的な職員配置の一環として検討を行っている。								

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考
No.	指標名						
○家庭系一時多量ごみの収集体制の充実							
①	一時多量ごみの収集申込に対する実収集率	目標		100%	100%	100%	100%
		実績	100%	100%			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応（R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報								
ホームページアドレス		https://www.kankyou-sapporo.jp/						
Eメールアドレス		swmrf@kankyou-sapporo.jp						
【経営状況等】								
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/>	役員名簿	<input checked="" type="checkbox"/>	団体機構図	<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画書	<input checked="" type="checkbox"/>	予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/>	決算書	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期的な経営計画				
【事業情報等】								
<input type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input type="checkbox"/>	管理施設情報)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他（								
ホームページ以外の情報媒体								
広報誌・冊子の発行：	なし							

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和7年7月1日現在のものです。

事業評価（1） 調査啓発事業（自主事業）

1. 事業概要		事業所管課： 環境局環境事業部総務課	担当： 光谷	電話： 211-2906
(1)事業内容	(1)調査研究事業 ①事業系紙おむつのリサイクルに関する調査 ②びん・缶・ペットボトル選別事業に関する調査 (2)普及啓発活動 ①広報活動（事業概要の発行・配布、キッズパンフレットの提供他） ②各種イベントへの参加・協賛等 (環境広場さっぽろ2024への出展、こどものまち「ミニさっぽろ2024」への協賛)			
(2)事業目的	調査研究事業：廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」を推進するため、資源の有効活用及び再利用の研究を進めるこ とを目的とする。 普及啓発活動：廃棄物の減量リサイクルの重要性を、市民・顧客に広くPRすることを目的とする。			
(3)事業開始	平成2年(1990年) 4月1日			

2. 実施結果

(1) 事 業 收 支 (単 位 千 円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		0 (0.0 %)	0 (0.0 %)	(0)
収入 (経常収益比)	市補助金・交付金・負担金			(0)
	市業務委託料			(0)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入（補助金除く）			(0)
	その他収入			(0)
費用（支出）	46,378	58,823	(+12,445)	
	事業費 46,166	58,551	(+12,385)	
	管理費等 212	272	(+60)	
収支差	▲ 46,378	▲ 58,823	(▲ 12,445)	
収支比率	0.00%	0.00%	(0)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	イベントへの参加	1回	1回	1回
②	「キッズパンフレット」の小学生への配布数 15,961部		約16,000部	15,931部
③				約16,000部
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	ホームページアクセス件数 129,552件	129,552件	100,000件	142,449件
②	「啓発ポスター」の応募参加者数 133人	133人	100人	174人
③				100人
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事 業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	調査研究事業では、「資源の有効活用及び再利用の研究」として、事業系紙おむつのリサイクルに関する調査研究とび ん・缶・ペットボトル選別事業に関する調査研究に取り組み、事業目的である廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率 化」の推進に向けて調査結果を役立てており、定量的な効果としては現れにくいものであるが、継続して実施していくこと が有効な事業である。			
	普及啓発事業では、イベントへの参加や協賛等を通じ、廃棄物の減量リサイクルの重要性を市民・顧客に広くPRしてい る。また、啓発ポスターをごみ収集車の車体側面に掲示する「走る掲示板」の啓発活動や、札幌市内小学校4年生向けの 「キッズパンフレット」の市内全校配布といった取り組みを順調に実施継続している。ホームページアクセス数について は、新型コロナウイルスによる影響を受けて令和3年度より開始した「WEB工場見学」等により、アクセス数が増加してい る。以上より、各指標においても目標達成していることから、事業の効果は十分出ていると評価できる。			
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	収支については公益目的支出であり、支出計画どおりに進んでいる。			

事業評価（2）びん・缶・ペットボトル選別事業

1. 事業概要		事業所管課：環境局環境事業部循環型社会推進課	担当：北林	電話：011-211-2928
(1)事業内容	本市がごみステーションで混合収集する家庭系資源物（びん・缶・ペットボトル）、及び公社が収集する事業系資源物を、品目ごとに分類、異物除去等の選別を実施し、圧縮・梱包等して一時保管したのち、指定法人やリサイクル事業者への売却・引渡しを実施する。 家庭系資源物については、容器包装リサイクル法に基づき本市が実施する容器包装廃棄物の分別・圧縮・梱包・保管業務に係る受託事業として、事業系資源物については、公社の自主事業として実施している。 また、令和3年10月から、本市が家庭系資源物と同日に別袋収集する筒型乾電池の選別・梱包・保管業務をあわせて実施している。	【市の関連事業名】 びん・缶・ペットボトル等選別事業		市委託料(随意契約) 892,697
(2)事業目的	家庭系及び事業系廃棄物の減量、適正処理、及び資源の有効利用の確保を図るため。			
(3)事業開始	平成10年(1998年) 10月1日			

2. 実施結果

(1) 事業 収支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	872,713 (11.5 %)	892,697 (11.5 %)	(+19,984)
市補助金・交付金・負担金				(0)
市業務委託料	872,713	892,697		(+19,984)
市指定管理費				(0)
市施設利用料金収入				(0)
自主事業収入（補助金除く）				(0)
その他収入				(0)
費用（支出）	1,026,402	980,881		(▲ 45,521)
事業費	1,021,703	976,347		(▲ 45,356)
管理費等	4,699	4,534		(▲ 165)
収支差	▲ 153,689	▲ 88,184		(+65,505)
収支比率	85.03%	91.01%		(+5.98%)
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①選別処理量	34,570t	34,400t	33,427 t	33,750t
②選別処理率	100%	100%	100%	100%
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①ペットボトル品質調査結果	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A
②				
③	※上記評価はA・B・Dの3ランクで評価され、Aの場合は引取りを継続、Bの場合は品質向上の要請があるが引取りを継続、Dの場合は当面の引取りは継続するが、改善計画書の提出及び実施を求められることがある。			
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	搬入物の選別処理率は100%を維持しており、また、ペットボトル品質評価は両施設ともにAランクであり、指定法人やリサイクル事業者への円滑な引き渡しが行われていることから、適切な業務遂行のもと、廃棄物の適正処理及び資源の有効活用に対し、一定の成果を上げることができていると認められるが、より一層の合理的かつ効率的な再資源化のため、更なる品質の向上を目指す必要がある。			
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	近年は、設備更新や、光熱水費、労務単価の上昇等により、本市の委託料増を上回る規模で支出額が増加傾向にある。令和6年度は、令和5年度に比べて設備更新や修繕にかかる支出が少なく、収支は令和5年度より改善したが、依然として赤字となっている。引き続き安定的な事業運営に向け、本市としても必要に応じて協議等を行っていきたい。			

事業評価（3）ごみ資源化工場ほか施設管理事業（受託事業）

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部白石清掃工場	担当： 北川	電話： 011-876-1710
(1)事業内容	札幌市ごみ資源化工場（燃料工場）は、紙くず・木くず・廃プラスチック（塩ビを除く軟質プラスチック）等の資源化ごみを原料とし、固形燃料（RDF）として再生する施設であり、当該団体は、この施設等を適正に運営するため、総括的な施設管理を実施している。 【市の関連事業名】 ごみ資源化工場ほか施設管理事業	市委託料(随意契約)	88,152
(2)事業目的	ごみ資源化工場等を適正に管理し、紙くずや木くずなどの事業系ごみを固形燃料化するリサイクルを推進する。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)		

2. 実施結果

(1) 事業 収支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	86,075 (1.1 %)	88,152 (1.1 %)	(+2,077)
市補助金・交付金・負担金				(0)
市業務委託料	86,075	88,152		(+2,077)
市指定管理費				(0)
市施設利用料金収入				(0)
自主事業収入（補助金除く）				(0)
その他収入				(0)
費用（支出）	74,303	77,728		(+3,425)
事業費	73,963	77,369		(+3,406)
管理費等	340	359		(+19)
収支差	11,772	10,424		(▲ 1,348)
収支比率	115.84%	113.41%		(▲ 2.43%)
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 機器故障等による資源化ごみの受け入れ停止	0回	0回	0回	0回
② 機器停止等による資源化工場運転停止	0回	0回	0回	0回
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 固形燃料生産量（t／年）	12,002	12,200	12,002	12,500
② 二酸化炭素削減量（t／年）	12,658	13,000	11,987	-
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	総括的な施設管理を適切に行なったことで、事業系の木くず、紙くず等を単に焼却することなく、バイオマス燃料としてリサイクルされ、清掃工場の負荷軽減に貢献するとともに、この燃料の利用により化石燃料の使用量が抑制され、二酸化炭素排出量の削減が図られた。 成果指標はごみの受け入れ量に左右される特性があるため指標達成には至っていないが、適切な業務によりごみ受入れ停止に至る事故等ではなく、事業の安定運営や環境負荷低減といった成果は着実に現れていることから、事業の効果は十分出ていると評価できる。			
(2) 收 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	適切な人員管理と業務経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。			

事業評価（4）大型ごみ収集センター管理運営事業（受託事業）

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部業務課	担当： 須田	電話： 011-211-2916
(1)事業内容	<p>【概要】 大型ごみ収集は、年間50万件前後の申込みを受付業務受託者が電話とインターネットで受付し、年間80万個前後の大型ごみを収集業務受託者が個別に収集している。大型ごみ収集センター管理運営事業は、受付から収集までの一連の作業が円滑に行われるよう管理することを目的としており、受付業務受託者、収集業務受託者の他、業務課及び各清掃事務所間における大型ごみ収集に関する総合的な調整及び苦情・問い合わせ等の対応を担っている。</p> <p>【業務内容】 本事業の契約業務内容は以下のとおり。 ・市と受付業務受託者との連絡・調整業務 ・収集業務受託者の業務管理、指導及び本市等関係機関との連絡調整 ・市民からの苦情、問い合わせ対応 ・大型ごみ収集に係る集計、統計資料作成 ・受付システム登録情報の管理業務</p> <p>【市の関連事業名】 大型ごみ収集センター管理運営事業</p>		
(2)事業目的	市・受付業務受託者・収集業務受託者と連絡・調整を図り、大型ごみの受付から収集までの一連の作業を円滑に迅速に行うことの目的としている。		
(3)事業開始	平成11年(1999年)		

2. 実施結果

(1) 事業 収支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	23,141 (0.3 %)	24,310 (0.3 %)	(+1,169)
	市補助金・交付金・負担金			(0)
	市業務委託料	23,141	24,310	(+1,169)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入（補助金除く）			(0)
	その他収入			(0)
費用 (支出)	35,809	36,613	(+804)	
	事業費	35,645	36,444	(+799)
	管理費等	164	169	(+5)
収支差	▲ 12,668	▲ 12,303	(+365)	
収支比率	64.62%	66.40%	(+1.77%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	苦情等処理件数	2,154件	目標値なし	1,769件 受託なし
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	大型ごみ収集センター受付応答率（受付数/入電数）	81.2%	85%以上	82.3% 受託なし
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	年間50万件前後に及ぶ大型ごみ収集センターの受信内容には、大型ごみの新規申し込みや申込内容の変更・キャンセルなどの他、収集時のトラブル・苦情や清掃事業全般に係る問い合わせ等が広く寄せられる。			
	令和6年度においては、受付応答率85%の目標を達成するには至らなかったが、受付業務受託者が限られた回線で効率的かつ迅速に受付業務を遂行することが出来るよう、例外的又は回答困難な問い合わせ・クレーム等があった場合は、管理運営業務受託者が速やかに引継ぎ対応しており、大型ごみ収集に係る一連の作業の円滑な遂行について、十分な効果が出ていたものと認められる。			
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	適切な人員配置の検討や事務的経費の削減等により、収支状況の改善に努める必要があったが、本受託事業についてはR6年度で終了となり、R7年度以降は発生しない。			

事業評価（5）事業系ごみ収集運搬事業（自主事業）

1. 事業概要		事業所管課：環境局環境事業部事業廃棄物課	担当：鈴木	電話：011-211-2927
(1)事業内容	①事業系ごみ、②家庭系の一時的多量ごみ、③家庭系廃棄パソコンの収集運搬 ・市内全域約35,000事業所のごみを、許可を受けた収集車両で収集している。 ・「資源化ごみ(紙くずなど)」「びん・缶・ペットボトル」「生ごみ」「剪定枝」の分別収集を実施 ・1日排出量40リットル以下の少量排出事業所(約25,000)は、専用のプリペイド袋で収集 ・すすきの早朝収集の実施(カラス等被害の防止) ・収集車両は約200台が許可登録されている。			
(2)事業目的	札幌市内の事業所から排出される一般廃棄物及び再生可能品(びん・缶・ペットボトル)の適正な収集運搬を行い、併せて分別リサイクルを推進するとともに、家庭から排出される引越し時等一時多量ごみの収集運搬など市の収集体制を補完する。			
(3)事業開始	平成6年(1994年)4月1日			

2. 実施結果

(1)事業収支(単位千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		6,471,832	6,604,384	(+132,552)
収入 (経常収益比)	市補助金・交付金・負担金	(85.2 %)	(85.3 %)	(0)
	市業務委託料			(0)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入(補助金除く)	6,471,832	6,604,384	(+132,552)
	その他収入			(0)
費用(支出)	6,000,194	6,069,106	(+68,912)	
	事業費	5,972,722	6,041,051	(+68,329)
	管理費等	27,472	28,055	(+583)
収支差	471,638	535,278	(+63,640)	
収支比率	107.86%	108.82%	(+0.96%)	
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 収集量(重量)	155,771t	156,440t	157,240t	157,600t
② 収集量(体積)	1,019,597m³	1,007,510m³	1,037,964m³	1,030,630m³
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 事業系ごみのリサイクル率	16.8%	17.6%	16.5%	16.7%
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
市内全域の事業所から出る一般廃棄物を一元的に収集・運搬することで分別収集が徹底されている。 また、専用プリペイド袋による収集は、少量排出事業所に対するきめ細かな対応を可能とし、事業系一般廃棄物の適正排出を確保している。 収集量は前年度と比較して体積ベースで1.8%増となったが、リサイクルごみの収集量は0.3%減となったため、リサイクル率も前年度と比較して約0.3%の減となった。今後も、多分別収集体制を継続させることで、一定のリサイクル率を確保し、廃棄物のリサイクルを通じた資源の有効活用に努める必要がある。				
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	顧客の排出量に合わせて伝票収集とプリペイド袋による収集を実施するなど、継続的に効率的な収集運搬を行っており、現時点での収支状況は良好である。しかしながら、多様な排出ニーズに今後も対応していくなかで、将来的に支出が増加し、収支状況に影響が出ることも思慮される。			

事業評価（6）不燃用プリペイド袋リサイクル事業（自主事業）

1. 事業概要		事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 鈴木	電話： 011-211-2927
(1)事業内容	少量排出事業所において不燃用プリペイド袋で排出される不燃ごみから「びん・缶・ペットボトル」等の資源物を手選別しリサイクルを推進する事業を実施している。			
(2)事業目的	札幌市のごみ埋立地の延命化、資源の有効利用促進を図るため、可能な限り市内排出事業者から収集する事業系一般廃棄物の選別・再資源化に努める。			
(3)事業開始	平成21年(2009年) 4月1日			

2. 実施結果

(1) 事 業 収 支 (単 位 千 円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		2,953	2,690	(▲ 263)
	収入 (経常収益比)	(0.0 %)	(0.0 %)	(0)
	市補助金・交付金・負担金			(0)
	市業務委託料			(0)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入（補助金除く）	2,953	2,690	(▲ 263)
	その他収入			(0)
	費用（支出）	63,112	73,429	(+10,317)
	事業費	62,823	73,089	(+10,266)
	管理費等	289	340	(+51)
	收支差	▲ 60,159	▲ 70,739	(▲ 10,580)
	收支比率	4.68%	3.66%	(▲ 1.02%)
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	処理量	2,116t	2,200 t	2,172t
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	総搬出量に対する資源物搬出量の割合	36.2%	30.0%	33.5% 30.0%
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事 業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	少量排出事業所において排出される不燃ごみから、びん・缶・ペットボトル、金属類、軟質プラスチック等の資源物を選別し、リサイクルすることで、事業系ごみの減量化と資源の有効利用、埋立地の延命化に貢献している。 近年は排出者のリサイクル意識が向上し、ごみの分別が進んできたことから、不燃用プリペイド袋による資源物の排出が減少する傾向にあるが、選別作業の精度向上の取組などにより、選別される資源物の割合は目標を上回っている。			
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	収支については公益目的支出であり、支出計画どおりに進んでいる。			

事業評価（7） 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業（受託業務）

1. 事業概要		事業所管課： 環境局環境事業部施設管理課	担当： 和田	電話： 011-211-2922
(1)事業内容	中沼プラスチック選別センターは、容器包装リサイクル法に基づき一般家庭から排出されたプラスチックごみから、国が定める分別基準に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、指定法人に引き渡され、再商品化事業者によりリサイクルされる。 中沼雑がみ選別センターは、「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、一般家庭から排出された雑がみから、製紙原料に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、製紙原料として製紙会社等に売却している。また、取除いた不適物は、固形燃料の原料として資源化している。 上記2施設は隣接しており、類似の業務であることから、施設を適正に運営するため、当団体が総括的な施設管理を実施している。	【市の関連事業名】 中沼プラスチック選別センター施設管理事業 中沼雑がみ選別センター施設管理事業		市委託料(随意契約) 69,955
(2)事業目的	市の中沼プラスチック選別センター及び中沼雑がみ選別センターを適正に管理し、市が分別収集した資源のリサイクルを推進する。			
(3)事業開始	平成12年(2000年) 7月 (プラスチック)、平成21 (2009) 年7月 (雑がみ)			

2. 実施結果

(1) 事業 収支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	66,036 (0.9 %)	69,955 (0.9 %)	(+3,919) (0)
	市補助金・交付金・負担金			(+3,919) (0)
	市業務委託料	66,036	69,955	(+3,919) (0)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入（補助金除く）			(0)
	その他収入			(0)
	費用（支出）	66,394	66,801	(+407) (+402) (+5)
	事業費	66,090	66,492	(+402) (+5)
	管理費等	304	309	
	収支差	▲ 358	3,154	(+3,512)
	収支比率	99.46%	104.72%	(+5.26%)
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	施設稼働日数（プラスチック選別センター）	257日	258日	259日
②	施設稼働日数（雑がみ選別センター）	257日	258日	259日
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	両施設ともに老朽化が進んでいるが、計画に沿った修繕や整備を適切に実施しているほか、突発的な故障に対しても受入停止に繋がらないよう適宜対応し、適正な保守管理を行った。			
	近年、モバイルバッテリーが使用された電子機器の混入に起因する発火・発煙が発生しているが、これらに対しても速やかな対応により、事故を未然に防いでいる。			
	また、いずれの施設も適正な処理により良好な品質を維持しながら、計画どおりリサイクルを推進している。			
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	委託料に対し適切な人員管理と経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。			

事業評価（8）剪定枝等処理事業（自主事業）

1. 事業概要		事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 鈴木	電話： 011-211-2927
(1)事業内容	剪定枝等リサイクル施設（篠路資源化工場内）において、剪定枝などの生木をチップ化して、堆肥の材料、燃料用チップなどへのリサイクル事業を実施している。			
(2)事業目的	剪定枝などの生木を破碎し、チップ化することにより、資源の有効活用に寄与する。			
(3)事業開始	平成20年(2008年) 10月 1 日			

2. 実施結果

(1) 事 業 收 支 (単 位 千 円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		46,081	34,754	(▲ 11,327)
収入 (経常収益比)	市補助金・交付金・負担金	(0.6 %)	(0.4 %)	(0)
	市業務委託料			(0)
	市指定管理費			(0)
	市施設利用料金収入			(0)
	自主事業収入（補助金除く）	46,081	34,754	(▲ 11,327)
	その他収入			(0)
費用（支出）	45,650	37,617	(▲ 8,033)	
	事業費	45,441	37,443	(▲ 7,998)
	管理費等	209	174	(▲ 35)
収支差		431	▲ 2,863	(▲ 3,294)
収支比率		100.94%	92.39%	(▲ 8.56%)
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	処理量	3,992 t	3,200 t	3,051t
②				2,300t
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	処理において資源化できた割合	100%	100%	100%
②				100%
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事 業 の 実 施 結 果 の 有 効 性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
剪定枝や伐採木などの生木を破碎・チップ化し、堆肥製造業者などに出荷することで、事業系一般廃棄物の減量が促進されるだけでなく、木質資源の有効活用や埋立地の延命化に貢献してきた。しかし、近年、FITやFIPを受けたバイオマス発電事業が広がっており、これを受け、石狩市森林組合等が設置主体で「道央地区未利用バイオマス供給協議会」（以下、「協議会」という。）が設置され、協議会が剪定枝等を買取収集していることから、受入量は減少している。				
(2) 収 支 状 況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
協議会による剪定枝の有価買取が行われ受入量が減少したため、収支状況が悪化している。協議会の買取状況を注視しながら、事業の方向性の検討を続いている。				

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その格會計	法人会計	内部取引等消去	合 計
【資産の部】					
I. 流動資産					
現 金 預 金	0	0	2,795,457,060	0	2,795,457,060
貯 藏 品	1,943,194	27,033,772	1,562,320	0	30,539,286
前 払 費 用	201,326	3,419,006	541,738	0	4,162,070
未 収 入 金	242,374	893,519,605	0	0	893,761,979
預 け 金	0	3,500	500	0	4,000
貸 倒 引 当 金	0	△ 3,896,499	0	0	△ 3,896,499
流動資産合計	2,386,894	920,079,384	2,797,561,618	0	3,720,027,896
II. 固定資産					
1. 基本財産					
基本財産引当預金	0	0	40,000,000	0	40,000,000
 基本財産合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
2. 特定資産					
退職給付引当預金	0	0	111,668,530	0	111,668,530
 特定資産合計	0	0	111,668,530	0	111,668,530
3. その他固定資産					
建物物	0	550,405,494	0	0	550,405,494
建物附属設備物	266,104	75,060,564	904,086	0	76,230,754
構築物	0	67,905,582	0	0	67,905,582
機械装置	2	38,426,980	0	0	38,426,982
車両運搬器具	0	5	0	0	5
工具器具備品	869,373	20,862,188	1	0	21,731,562
ソフトラウエア	0	30,954,003	530,017	0	31,484,020
ソフトウェア仮勘定	0	1,980,000	0	0	1,980,000
長期前払費用	0	3,422,980	0	0	3,422,980
繰延税金資産	0	0	59,992,410	0	59,992,410
 その他固定資産合計	1,135,479	789,017,796	61,426,514	0	851,579,789
 固定資産合計	1,135,479	789,017,796	213,095,044	0	1,003,248,319
資産合計	3,522,373	1,709,097,180	3,010,656,662	0	4,723,276,215
【負債の部】					
I. 流動負債					
未 払 金	5,514,649	592,176,277	2,992,892	0	600,683,818
前 受 金	0	79,122,208	0	0	79,122,208
預 り 金	0	826	2,193,983	0	2,194,809
未 払 消 費 税 等	0	25,616,600	0	0	25,616,600
未 払 法 人 税 等	0	0	111,110,500	0	111,110,500
一年以内リース債務	0	2,022,363	0	0	2,022,363
賞与引当金	3,039,440	26,064,913	4,701,274	0	33,805,627
流動負債合計	8,554,089	725,003,187	120,998,649	0	854,555,925
II. 固定負債					
リース債務	0	1,627,742	0	0	1,627,742
退職給付引当金	9,713,736	89,217,614	12,737,180	0	111,668,530
資産除去債務	7,017,002	754,064,331	1,379,002	0	762,460,335
固定負債合計	16,730,738	844,909,687	14,116,182	0	875,756,607
負債合計	25,284,827	1,569,912,874	135,114,831	0	1,730,312,532
【正味財産の部】					
I. 指定正味財産					
寄附金	0	0	30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産合計	0	0	30,000,000	0	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(30,000,000)	(0)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
II. 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	△ 21,762,454	139,184,306	2,845,541,831	0	2,962,963,683
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)
正味財産合計	△ 21,762,454	139,184,306	2,875,541,831	0	2,992,963,683
負債及び正味財産合計	3,522,373	1,709,097,180	3,010,656,662	0	4,723,276,215

正味財産増減計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

(単位:円)

科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
③ 事業収益	7,742,057,763	7,593,543,287	148,514,476
1 不燃用プリペイド袋リサイクル事業収益	2,689,918	2,952,928	△ 263,010
2 剪定枝等処理事業収益	34,753,686	46,081,427	△ 11,327,741
3 びん・缶・ペットボトル選別事業収益	892,697,230	872,713,220	19,984,010
4 施設管理受託事業収益	184,348,368	176,986,316	7,362,052
ごみ資源化工場施設管理事業収益	88,152,048	86,074,894	2,077,154
中沼プラスチック選別センター施設管理事業収益	43,504,503	38,894,992	4,609,511
中沼雑がみ選別センター施設管理事業収益	26,450,277	27,140,643	△ 690,366
札幌市リサイクル団地管理事業収益	26,241,540	24,875,787	1,365,753
5 大型ごみ収集センター管理運営事業収益	24,310,000	23,140,621	1,169,379
6 事業系ごみ収集運搬事業収益	6,603,258,561	6,471,668,775	131,589,786
収集運搬事業収益	6,569,241,881	6,440,932,619	128,309,262
分別収集有価物売却収益	34,016,680	30,736,156	3,280,524
④ 雜収益	3,590,645	3,072,159	518,486
雑収益	3,590,645	3,072,159	518,486
経常収益計	7,745,648,408	7,596,615,446	149,032,962
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	7,391,571,177	7,350,437,887	41,133,290
給料手当	3,386,661	3,355,884	30,777
退職給付費用	372,087,928	351,616,541	20,471,387
賞与引当金繰入額	7,569,659	6,887,632	682,027
法定福利費	33,210,446	32,525,642	684,804
福利厚生費	62,532,355	60,831,555	1,700,800
消耗品費	12,395,269	11,684,687	710,582
消耗分料	46,732,553	41,365,764	5,366,789
プリペイド袋製作費	2,981,394,354	2,950,824,771	30,569,583
機械部品費	66,486,842	64,531,237	1,955,605
消耗什器備品費	15,944,787	16,333,821	△ 389,034
保険料	9,957,013	45,790,218	△ 35,833,205
修理料	3,537,733	2,806,550	731,183
旅費交通費	40,273,674	104,451,555	△ 64,177,881
通信費	541,822	1,190,094	△ 648,272
搬運費	17,392,053	14,746,038	2,646,015
光熱水料費	44,673,250	47,039,345	△ 2,366,095
燃料料費	19,025,638	19,658,961	△ 633,323
支払手数料	111,604,547	111,690,562	△ 86,015
会議費	287,662	7,577	280,085
委託料	749,371,483	729,156,909	20,214,574
代行料	2,485,322,412	2,433,107,602	52,214,810
広告宣伝費	542,000	514,500	27,500
印刷費	19,374,513	19,277,884	96,629
諸貯金	484,000	264,000	220,000
負担料	32,173,949	28,780,970	3,392,979
雜費	1,545,100	1,503,500	41,600
公課費	899,773	879,570	20,203
租利息	109,390,900	98,377,150	11,013,750
支払利息	3,327,957	3,341,932	△ 13,975
貸倒損失	68,655	37,131	31,524
貸倒引当金繰入	145,975	0	145,975
減価償却費	139,890,214	147,858,305	△ 7,968,091

科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
②管理費			
役員報酬	34,327,329	33,809,087	518,242
給料手当	7,139,326	7,120,381	18,945
退職給付費用	5,752,302	5,434,621	317,681
賞与引当金繰入額	133,561	203,448	△ 69,887
法定福利費	595,181	569,887	25,294
福利厚生費	2,580,372	2,521,872	58,500
消耗品費	348,380	283,124	65,256
消耗什器備品費	505,380	562,750	△ 57,370
旅費交通費	300,080	0	300,080
通信信運搬費	446,462	511,352	△ 64,890
光熱水料費	857,602	928,517	△ 70,915
支払手数料	461,156	472,448	△ 11,292
会議費	421,485	429,880	△ 8,395
委託費	332,704	335,336	△ 2,632
交際費	4,787,197	4,625,487	161,710
印刷費	295,450	252,640	42,810
諸賃借料	791,255	860,983	△ 69,728
負担金	2,780,972	2,718,561	62,411
雜費	5,126,571	5,108,225	18,346
公租公課費	355,000	456,000	△ 101,000
支払利息	13,040	29,265	△ 16,225
減価償却費	31,290	46,710	△ 15,420
	6,642	6,610	32
	265,921	330,990	△ 65,069
経常費用計	7,425,898,506	7,384,246,974	41,651,532
評価損益等調整前当期経常増減額	319,749,902	212,368,472	107,381,430
特定資産評価損益 評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	319,749,902	212,368,472	107,381,430
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	0	8,870,400	△ 8,870,400
経常外収益計	0	8,870,400	△ 8,870,400
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1,414,009	862,581	551,428
経常外費用計	1,414,009	862,581	551,428
当期経常外増減額	△ 1,414,009	8,007,819	△ 9,421,828
税引前当期一般正味財産増減額	318,335,893	220,376,291	97,959,602
法人税、住民税及び事業税	111,110,500	86,961,200	24,149,300
法人税等調整額	△ 9,032,386	△ 13,760,615	4,728,229
当期一般正味財産増減額	216,257,779	147,175,706	69,082,073
一般正味財産期首残高	2,746,705,904	2,599,530,198	147,175,706
一般正味財産期末残高	2,962,963,683	2,746,705,904	216,257,779
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,992,963,683	2,776,705,904	216,257,779